

令和4年度第1回仙台市廃棄物対策審議会 議事録

日 時	令和4年5月27日（金） 10:00～12:00
場 所	T K P ガーデンシティ仙台 ホール 30 B
出席委員	久田真会長、松八重一代副会長、安住浩一委員、大原敦子委員、笠原建委員、齋藤優子委員、菅原博委員、鈴木公至委員、千田恵委員、長友淳恭委員、中山隆治委員（代理出席）、西澤啓文委員、沼田隆委員、橋本啓一委員、藤田祐子委員、山田政彦委員、吉田美緒委員 以上 17 名（委員定数 20 名）
欠席委員	遠藤智栄委員、齋藤敦子委員、多田千佳委員
事務局	環境局長、環境局次長、環境部長、廃棄物事業部長、施設部長、廃棄物企画課長、家庭ごみ減量課長、事業ごみ減量課長、施設課長
傍 聴 人	0 名
次 第	1 開会 2 議事 （1）一般廃棄物処理基本計画に係る目標の進捗状況等について （2）令和3年度の主な取り組み結果について （3）令和4年度の新たな取り組みについて （4）製品プラスチック一括回収・リサイクルについて （5）PCB 廃棄物の期限内処理について （6）その他 3 閉会

発言者	議事要旨
久田会長	<p>次第2 議事(1)「一般廃棄物処理基本計画に係る目標の進捗状況等について」及び(2)「令和3年度の主な取り組み結果について」は、関連する内容になることから合わせて事務局より説明をお願いします。</p>
廃棄物企画課長	<p><資料1・2に基づき説明></p>
橋本委員	<p>資料1の一般廃棄物処理基本計画の目標の進捗状況について、新型コロナウイルス感染症の流行がごみの出し方にも影響していると思われるが、これまでと同じような数値での評価だけではなく、もう少し多角的な評価をしても良いのではないかと。昨年度の審議会でも同じように発言したが、例えば、人口についてはどのような市民が増えたのか、他都市からの流動がどの程度あったのか。さらには世帯構成や世代などの視点からもごみの排出傾向などを分析することで様々なことが見えてくると思っている。</p>
廃棄物企画課長	<p>前回の審議会でのご意見を踏まえ、昨年度は家庭ごみに占める食品ロス量とプラスチック製容器包装の組成調査を実施したところである。本年度についても引き続き調査を行うこととしており、ごみの排出傾向などの検証してまいりたい。また、人口動態や世帯構成等がごみの組成や出し方に影響するのかについても、今後、注意深く見てまいりたい。</p>
橋本委員	<p>前回もそのような回答だったと思うが、再度申し上げるが、世帯や世代からの視点を重視して検証していただき、効果的な取り組みをしていただきたい。</p> <p>次に生ごみに占める食品ロス量について、令和元年度34.5%から令和3年度20.5%と14ポイント減っている要因をどのように考察しているのか。併せて調理くずと同じく増えている「その他の食品」とは何なのか説明いただきたい。</p>
廃棄物企画課長	<p>令和元年度から令和3年度で食品ロス量が14ポイント減少したことについては、新型コロナウイルス感染症の流行により、在宅時間が増加したことで、家庭での食事が増え、食べ残し等が減ったことによるものと考察している。「その他の食品」については、茶殻や卵の殻などが含まれている。</p>
橋本委員	<p>コロナ禍における家庭での食事が増えることで、食品ロスも増</p>

橋本委員	<p>加することが想定される中で、市民が食品ロスを減らすために食材を使い切るなど意識が変わってきてもらえているといった回答を期待していた。食品ロスを減らすためにどのような意識を市民に持っていただくのか、そのための取り組みに力を入れていただきたいし、今後、そのような回答を期待したい。</p> <p>また、ごみ総量の表の中で、プラスチック製容器包装が令和3年度は13,162トン、令和2年度は13,181トンで、マイナス1.1%とあるが、マイナス0.1%の誤りではないか。</p>
廃棄物企画課長	<p>数字については、確認して後ほど訂正させていただきたい。</p>
橋本委員	<p>もし間違いであれば、審議会の中で訂正いただきたい。</p> <p>資料2についても質問させていただく。5ページの製品プラスチックリサイクル実証事業について、住民アンケートの結果では、約8割の方が歯ブラシなども出せるということで「分別がわかりやすくなった」と評価いただいたということであり、私自身も良いことであると思っている。この実証事業の結果がホームページで公表されているが、そこでは、住民アンケートの結果について、「一部迷ったがわかりやすかった」という回答が相当多くあったように記憶している。この「一部迷ったが」というのはどのような意味なのか説明いただきたい。</p>
廃棄物企画課長	<p>アンケートについては、選択肢として「とても分かりやすくなった」、「一部迷ったがわかりやすかった」、「変わらない」、「わかりにくくなった」、「その他」を設問とした。その中で「とても分かりやすくなった」と「一部迷ったがわかりやすかった」の回答を合わせて約8割となることから、今回の資料では、約8割の方が「分別がわかりやすくなった」としたところである。</p>
橋本委員	<p>選択肢がそうであったという回答については了解したが、「一部迷った」という設問を作ったのであれば、何に迷ったのかについても聞くべきで、その方が今後活用できる資料になると思う。</p> <p>続いて、資料2の10ページにある集団資源回収については、町内会や子供会で一生懸命取り組んでいただいているが、私の住む地域では10町内会のうち6町内会は子供の数が少なくなり、集団資源回収を実施していないため、市民センターにある資源回収庫に持ち込んでいる。資料では、集団資源回収の実施団体と回収量は年々減っている状況だが、これは実施団体が減っているから回収量が減っているのか、資源回収庫での回収量も減っているのかについて説明いただきたい。また、資源回収庫には子供からお年寄り</p>

橋本委員	<p>まで多くの衣類が出されているが、回収した衣類のリユース・リサイクルについてどのように取り組んでいるのか併せて説明いただきたい。</p>
家庭ごみ減量課長	<p>資源回収庫における紙類の回収量については、令和2年度と令和3年度を比較して減少している状況であり、集団資源回収から資源回収庫に流れていることはないと考えている。</p> <p>また、集団資源回収については、コロナ禍の影響から集まることができないことなどから実施を見合わす団体や実施回数を減らす団体も多く、回収量減少の要因と考えている。</p> <p>衣類については、資源回収庫では増加しており、集団資源回収では減少している状況である。</p>
吉田委員	<p>資料2の24ページの海岸漂着物実態調査の方法について説明いただきたい。我々の団体でも海岸調査を行い、海洋ごみセミナーなども行っているが、我々の調査では、砂浜の砂ごとすくい、砂をはらって、そこから細かなプラスチックを拾っている。市も同じ方法で調査しているのか。</p>
家庭ごみ減量課長	<p>海洋漂着物組成調査については、国が定める「地方公共団体向け漂着ごみ組成調査ガイドライン」に基づいて実施している。調査は、海岸の中心部左右50cm、奥行き30cm四方を範囲とし、そこに漂着している表面のごみを回収し、10分類にして重量を測定しており、その結果プラスチックが39%と一番多い割合であった。また、砂の中に埋もれているごみを掘り起こしての調査は行っていない。</p>
吉田委員	<p>国のガイドラインについては、一般の方でも見ることができるものか。</p>
家庭ごみ減量課長	<p>環境省のホームページでも公表されていることからどなたでも閲覧できると思うが、確認して情報提供させていただきたい。</p>
松八重副会長	<p>資料1について確認だが、最終処分量に関しては、前年度に比べて5.2%減少している。これだけ最終処分量が減少していることは素晴らしいことであると思うが、ごみ総量の0.6%減少に比べると非常に大きい減少になる。ごみ焼却工場が新しくなって焼却効率が向上したことなど、何か起因となっている事情があれば説明いただきたい。</p>

<p>廃棄物企画課長</p>	<p>ごみ総量には、缶・びん・ペットボトルやプラスチック製容器包装等の資源物も含まれるため0.6%の減少にとどまっている。最終処分量の減少は、焼却処理している家庭ごみが減少していることによるものと考えている。</p>
<p>松八重副会長</p>	<p>そもそも処理量も減って最終処分量も減っていることは、おそらく焼却効率が上がって残渣率が減少したことだろうと推察される。新しい設備の導入によって焼却効率が向上したのであれば、その辺をアピールしても良いのではないかと。</p> <p>同じようにアピールした方が良いものとして、生ごみに占める食品ロス量について、コロナ禍の生活をネガティブに捉えがちだが、在宅時間が多くなったことで、食材を使い切ることや食べきることを市民が実施できたことは、コロナ禍が生んだポジティブな要素であると思う。</p>
<p>久田会長</p>	<p>それでは、議事（１）と（２）については、ここで打ち切りとしたいが、事務局から何かあるか。</p>
<p>廃棄物企画課長</p>	<p>資料１のごみ総量等の表にあるプラスチック製容器包装の前年度比について、マイナス1.1%と表記しているが、マイナス0.1%の誤りである。訂正をお願いしたい。</p>
<p>久田会長</p>	<p>それでは、訂正をお願いする。続いて議事（３）「令和４年度の新たな取り組みについて」、事務局より説明をお願いする。</p>
<p>廃棄物企画課長</p>	<p><資料３に基づき説明></p>
<p>橋本委員</p>	<p>使い捨てプラスチックの削減については、製品プラスチックの一括回収と大きな関連性が出てくるものと思うが、事業者側へのアプローチと市民向けのアプローチを丁寧にしかりと行うべきと考える中で、ポスターや広報物のほかにどのように周知していくのか確認したい。</p> <p>また、SDGs が多くの方々に認知されるようになってきた中で、一つ一つの取り組みが、SDGs とどのように関連付けられているのかを明記すると、市民の意識向上にもつながり、取り組みを推進させられるのではないかと。</p>
<p>家庭ごみ減量課長</p>	<p>使い捨てプラスチック削減キャンペーンについては、市民と事業者の両方に向けてPRしたいと考えている。第一弾として、ホテル・旅館のフロント等で啓発ポスターを掲示していただき、利用す</p>

家庭ごみ減量課長	<p>る市民の方へのPRにつなげていく。また、ホテル等の従業員の方へも使い捨てプラスチックの使用抑制について意識していただくといった相乗効果を期待し、事業者と連携して取り組んでまいりたい。</p> <p>さらには、協力いただく事業者については、積極的に市のホームページ等で公表し、使い捨てプラスチック使用削減に取り組む事業者の意識の向上を図るとともに、市民の利用促進につながるキャンペーンを展開していきたい。</p>
廃棄物事業部長	<p>SDGsについては、本市においても全庁を挙げて取り組んでおり、その中で、個々の事業がSDGsとどう関連するのかを理解いただくことは重要なことと考えている。ペットボトルの水平リサイクルの取り組みがどのような意味を持っているのかなど、様々な施策とSDGsの関連性については丁寧に説明していく必要があり、今後の資料作成においては、その点配慮してまいりたい。</p>
齋藤優子委員	<p>リチウムイオン電池等の定日収集開始については、大きな前進だと思う。周知チラシにおいては、もう少し絶縁措置を目立つ表記にすると良いと思うので、今後の広報においては、他都市の事例等を参考にするなど、表現の工夫をお願いしたい。</p> <p>また、「30 cmを超えるものは粗大ごみへ」と表記されているが、現在は、自転車店で引き取りを行っている電動アシスト自転車のバッテリーは今回の収集対象となるのか。</p>
廃棄物企画課長	<p>絶縁措置に関しては、安全な収集作業にもつながることから、今後の広報資料作成の際は、市民の方にわかりやすい表現を工夫してまいりたい。</p> <p>また、電動アシスト自転車のバッテリーについては、今回の収集対象となるため、今後作成するチラシ等には明記してまいりたい。</p>
久田会長	<p>続いて、議事（４）「製品プラスチック一括回収・リサイクルについて」、事務局より説明をお願いする。</p>
廃棄物企画課長	<p><資料4に基づき説明></p>
松八重副会長	<p>プラスチック資源循環促進法が施行されたこの時期に本事業を開始することは非常に意義深いと思う。コロナ禍において家庭での消費が増え、また、高齢化ということもあるかと思うが、自宅で食事をすることが多くなると、プラスチック製の容器包装の排出が増えることが想定される。そんな状況の中で、製品プラスチック</p>

松八重副会長	<p>と一括して出すことができ、リサイクルされることはごみ処理の効率化や資源循環にとって重要なことである。しかしながら、リチウムイオン電池を使用する機器など外側がプラスチックの製品の扱いに関してはまだまだ懸念するところがある。新しく制度が変わると懸念材料がどうしても発生することから、運用段階では様々な課題が生じるものと思っている。仙台市だけではなく全国的な問題であるため、他都市等とも共有しながら良い方向に向かえばよいと思っている。</p> <p>また、高齢化により自宅から施設に移り住むことに伴い、身の回りを整理される場合もあると思う。その時には、分別せずにまとめて家庭ごみに出されることも想定されるので、高齢者世帯を対象に周知広報することも必要ではないか。</p>
廃棄物事業部長	<p>高齢者への周知広報については、とても重要なものと思っている。本市でのリチウムイオン電池を起因とした発火事例では、粗大ごみの自己搬入時に大量の片づけごみに紛れて出され、混入に気づかずに破砕処理の過程で発火している。そのような課題に対し、どのように啓発するかについては、難しい部分があるが、リチウムイオン電池については、近年急速に普及してきたものであり、それぞれの世代の方が、どのような性質を持つ電池であるかについては、まだまだ認識不足であると思っている。また、製品プラスチックの実証事業においても、外装がプラスチックであるリチウムイオン電池使用機器が混入していることから、安全なごみ処理体制を確保するため、排出ルールの徹底に努めてまいりたい。</p>
久田会長	<p>他に質問がなければ、議事（５）「PCB 廃棄物の期限内処理について」事務局より説明をお願いします。</p>
事業ごみ減量課長	<p><資料５に基づき説明></p>
久田会長	<p>PCB 廃棄物で最後に残るのは、ここにあるという意識のない物になると思うが、どのように進めていくのか説明いただきたい。</p>
廃棄物事業部長	<p>PCB 廃棄物では、照明器具の安定器の処理が課題であると考えている。トランス、コンデンサーについては、大規模な受電施設に必要な機器であるため、ご指摘のような問題はないと思うが、照明器具の安定器については、一般的な事務所等でも使用されているものである。そのため、本市では、市内の事業者を対象にアンケートや訪問調査を実施するなど掘り起こしを進めている。現在事業を継続されている事業者のほか、かつては商店兼住居であった場合</p>

<p>廃棄物事業部長</p>	<p>などは難しいところであるが、訪問調査等で掘り起こしを行ってまいりたい。</p>
<p>久田会長</p>	<p>最後に議事（6）「その他」についてだが、本日の審議を振り返り整理すると、資料1の基本計画の目標の進捗状況については、何が理由で増減したのかを多角的に分析してもらいたいとの発言であった。事務局側だけで分析が難しい場合は、委員の中にも専門家の先生方もいるので聞いてもらいたい。</p> <p>資料3の本年度の新たな取り組みのところでは、SDGsとの関連性をしっかりとアピールすべきとの意見もあった。例えば、目の前にあるペットボトルのラベルには、仙台市と明記され、仙台市の取り組みであることは解るが、そうではないものも見られるので、何か統一したものがないと主体が仙台市かどこなのかわからなくなると思う。あるいは、全てSDGsに関連付けて仙台市は実施していることがあれば、そのようなマークの入れ方もあると思う。最近では、情報広報活動という言い方ではなく、アウトリーチ活動といって、みんなが見に来るのではなく、伝える側から誘導的にアピールして伝えていくこともあると思う。</p>
<p>大原委員</p>	<p>食品ロス削減について、「せんだい食品ロス削減ガイドブック」はとても分かりやすく作られていると思う。東日本大震災後に私の家庭でも備蓄をするようになり、またコロナ禍で万が一の感染に備え、さらに備蓄する傾向にある。フードドライブができたことで、消費期限が近いレトルトご飯やお米を寄付することができるようになり、非常にありがたく思っているので、災害備蓄食品を無駄にすることなく定期的に更新することや、その際にフードドライブを活用することもガイドブックに掲載されると良いと思った。</p>
<p>廃棄物事業部長</p>	<p>東日本大震災後に備蓄の重要性が認識され、さらにコロナ禍でいつ療養生活に入るかわからないということで、飲料水を含めて備蓄することを進める情報発信がテレビ等でなされている。前提としては、備蓄を使いつつ入れ替えていただくことだと思うが、なかなか全部使い切ることは難しいと思う。そのような場合、食品ロス削減に向けて、フードドライブを活用いただくことは重要であり、その点も関連付けた情報発信を今後考えてまいりたい。</p>
<p>齋藤優子委員</p>	<p>資料2について、一般廃棄物処理基本計画は、非常に網羅的な計画であり、特に行動する人づくりに紐づける点は仙台市らしさが出ていると思う。一方で、SDGsやカーボンニュートラルなどの世</p>

<p>齋藤優子委員</p>	<p>界的潮流の高まりもあり、今までそれほど廃棄物処理に関係してこなかった事業者や製造者などの関心も高まってきている。そういった点を踏まえ、従来の適正処理・自区内処理という大原則の範疇を超える部分も廃棄物行政に求められてきていると思う。ぜひ仙台市には横串を通すような廃棄物行政の推進を期待したい。例えば21ページの地域ごみ出し支援活動については、支援する登録団体が増えていることは喜ばしいところだが、支援世帯も増えてきており、福祉政策との連携というのも重要だと思う。</p>
<p>久田会長</p>	<p>資源循環、カーボンニュートラル、そして経済成長、それぞれの最適解は必ずしも一致するものではないと思うが、どのようにバランスをとるのが重要だと思う。その中でも、廃棄物の処理・活用というのは大変大きな役割を担うと思うので、ぜひご留意いただければと思う。</p> <p>他に意見はないか。それでは、本日の審議は以上とする。円滑な議事運営に協力いただき感謝する。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>